

— 目 次 —

1. 圏域の特徴と課題	・・・	p.1
2. 活動評価と活動計画		
① 包括的支援事業		
ア 地域包括支援センターの運営		
(ア) 総合相談支援業務	・・・	p.2～5
(イ) 権利擁護業務	・・・	p.6～9
(ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	・・・	p.10～11
(エ) 地域ケア会議推進事業	・・・	p.12～13
イ 生活支援体制整備事業		
(ア) 第2層生活支援コーディネーター業務	・・・	p.14～15
② 新しい介護予防・日常生活支援総合事業		
ア 一般介護予防事業		
(ア) 地域介護予防活動支援事業	・・・	p.16～21
(高齢者の生きがいと健康づくり推進事業)		
③ 任意事業		
ア 住宅改修支援事業	・・・	p.22～23
● 家族介護支援事業	・・・	p.22～23

1. 人口の推移と年齢構成

	(人)					H29.3末	
	H25.3	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3	割合	全市
年少人口	1,156	1,077	986	901	860	7.1%	10.1%
生産年齢人口	7,614	7,248	6,850	6,450	6,125	50.5%	56.5%
高齢人口	4,955	5,013	5,087	5,119	5,155	42.5%	33.4%
(再掲)65～74歳	2,173	2,233	2,296	2,304	2,324	19.1%	16.7%
(再掲)75歳以上	2,782	2,780	2,791	2,815	2,831	23.3%	16.7%

2. 世帯構成

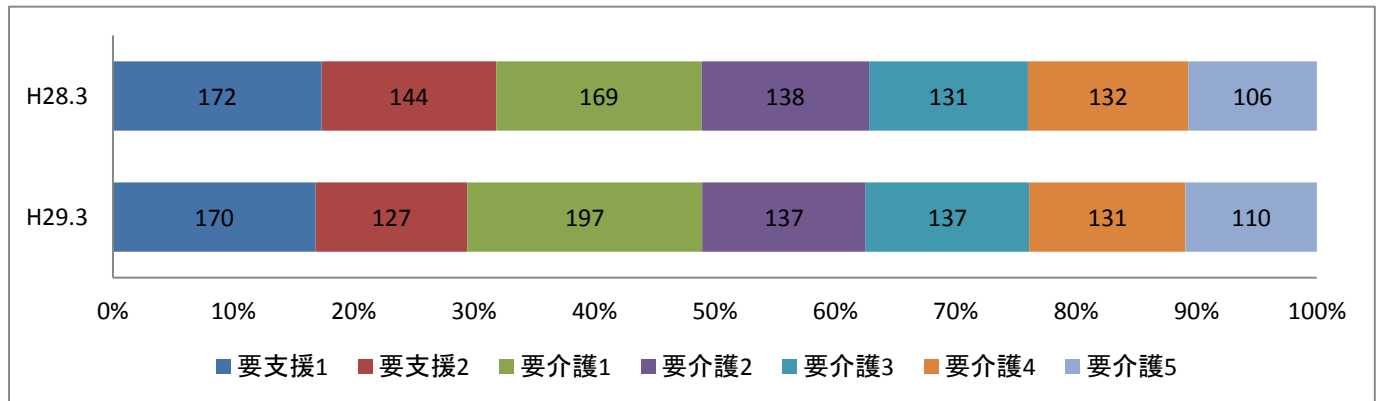
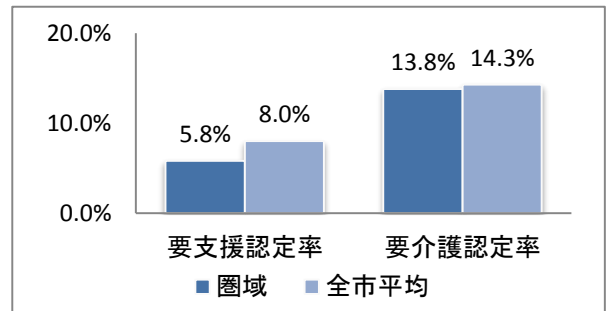
	H29.3末		
	世帯数	割合	全市
高齢者単身世帯	1,591	26.8%	23.3%
高齢者複数世帯	979	16.5%	12.4%
その他	3,377	56.8%	64.2%

4. 介護保険サービス事業所数

H29.3末	
居宅介護支援・小規模多機能型等	7
地域密着型サービス	8

3. 要介護認定の状況

	H29.3末		
	H28.3	H29.3	全市
要支援認定者(人)	316	297	7,029
要支援認定率(%)	6.2%	5.8%	8.0%
予防給付実績(人)		133	4,464
給付率(%)		44.8%	63.5%



5. 圏域の課題

東部圏域は平成16年の市町村合併以降も人口が逡減しており、平成29年3月までに圏域内人口は約5,000名減少し12,140人となっている。特に年少人口と生産者人口の減少が著しいにもかかわらず、高齢者人口はこの間約5,000人ほどで推移し大きな変動は無く、合併時に28%台だった高齢化率は、現在42%を超えている状況。さらに高齢者単身世帯や高齢者複数世帯の割合が全市平均より3～4ポイント高いこともあり、家族介護力の低下や、地域の支え手の不足、民生委員や町内会役員を担う人材の不足など、総合的な地域力の低下が予測される。

地域的に漁業や出稼ぎで生計を立ててきた方が多いため、筋・骨疾患の保有者が多く、今後要介護認定率の増加も予測される。

また、実際に家族や自分自身が必要に迫られない状況では、保健福祉に関する知識についてあまり関心を示さない方が多いため、繰り返し出前講座等で啓発を行って行く必要がある。

① 包括的支援事業

ア 地域包括支援センターの運営

(ア) 総合相談支援業務

【根拠法令】介護保険法115条の45第2項第1号

【目的】地域の高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、地域における関係者とのネットワークを構築するとともに、高齢者等の心身の状況や生活実態、必要な支援等を幅広く把握し、相談を受け、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、機関または制度の利用につなげる等の支援を行う。

事業内容	平成28年度 活動評価																																																	
	実績	評価																																																
地域包括支援ネットワーク構築	①ネットワーク構築回数 74回 ②ネットワーク構築機関 運営推進会議 8事業所 24回 民児協定例会(26, 29方面) 精神保健福祉士協会、薬剤師会、法テラス、 居宅連協、町会連合会保健福祉部、 恵山恵愛会居宅、社協支所、社協居宅かやべ 東部保健事務所、戸井支所、杉山クリニック、 レインボー薬局、恵山病院、南茅部病院、調剤、 楳法華小中学校、消防、戸井歯科診療所 楳法華クリニック、南茅部駐在所	・保健医療福祉連携会議の開催時に、対応経過の共有も行う事で、各支所管内ごとに行行政や、医療機関、介護保険事業所等関係機関との連携を一層深めることができた。 ・課題だった警察や商工会等との連携についても、南茅部圏域と恵山圏域の駐在所長に事業協力を得ることができたほか、商工会の研修会の場を活用し、認知症サポーター養成講座を開催することができ、新たなネットワーク構築に繋がった。																																																
実態把握	①利用者基本情報作成状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画数値</td> <td>550件</td> <td>559件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>作成数</td> <td>498件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>90.5%</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 再)地域支援事業分 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>作成数</td> <td>443件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>89.0%</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ②実態把握経路 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>■ 予防給付</td> <td>55件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>■ 見守り</td> <td>0件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>■ モニタリング</td> <td>113件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>■ その他</td> <td>330件</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		H28	H29	H30	計画数値	550件	559件		作成数	498件			達成率	90.5%				H28	H29	H30	作成数	443件			割合	89.0%				H28	H29	H30	■ 予防給付	55件			■ 見守り	0件			■ モニタリング	113件			■ その他	330件			・民生委員や市各支所担当課、医療機関等との連携が図られており、状況確認を要する高齢者の情報が多く寄せられるようになってきている。このため、実態把握による利用者基本情報作成件数については少しずつ増加しているが、計画数値には達していない。 ・介護予防日常生活圏域ニーズ調査の結果から、東部圏域においては見守りが必要な高齢者の割合が少なく、地域内で自然な見守りの体制が確保されている。 ・予防給付利用者について、全数の利用者基本台帳が提出されていないため、担当職員のチェック体制を強化し全件数の提出を行うようにする必要がある。
	H28	H29	H30																																															
計画数値	550件	559件																																																
作成数	498件																																																	
達成率	90.5%																																																	
	H28	H29	H30																																															
作成数	443件																																																	
割合	89.0%																																																	
	H28	H29	H30																																															
■ 予防給付	55件																																																	
■ 見守り	0件																																																	
■ モニタリング	113件																																																	
■ その他	330件																																																	
総合相談	①総合相談対応件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実件数</td> <td>978件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>延件数</td> <td>1,307件</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ②相談形態内訳(延) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>面接</td> <td>49件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>電話</td> <td>442件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>訪問</td> <td>816件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0件</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ③対象者の年齢内訳(実) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>65歳未満</td> <td>8件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>65歳以上</td> <td>970件</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		H28	H29	H30	実件数	978件			延件数	1,307件				H28	H29	H30	面接	49件			電話	442件			訪問	816件			その他	0件				H28	H29	H30	65歳未満	8件			65歳以上	970件			・出前講座や広報発行などで、関係機関等への周知を繰り返し行っている事で、相談件数は年々増加している。 ・地域包括支援センターを知らない方や、社協を同一の機関と理解している方もいるため、今後も地域包括支援センターおよびランチについての周知を継続していく必要がある。 ・圏域が広大なため、面接相談はあまりなく、軽微な電話相談以外は職員が訪問して対応しているが、センターから離れた方への対応を行う場合、そのケースだけで半日程の時間を要することがある。				
	H28	H29	H30																																															
実件数	978件																																																	
延件数	1,307件																																																	
	H28	H29	H30																																															
面接	49件																																																	
電話	442件																																																	
訪問	816件																																																	
その他	0件																																																	
	H28	H29	H30																																															
65歳未満	8件																																																	
65歳以上	970件																																																	

平成29年度 活動計画

事業目標	計画	評価指標
<p>・保健医療福祉連携会議を定例開催する事で、現在のネットワークの維持を図る。</p> <p>・圏域内で連携関係が構築されていない機関とのネットワーク構築を図る。</p>	<p>○保健医療福祉連携会議の開催を継続する。 ※隔月開催：戸井圏域 毎月開催：恵山、椴法華、南茅部圏域</p> <p>○認知症サポーター養成講座の開催をとおし、新たな連携構築に繋げる。 ・圏域内漁業協同組合への開催依頼</p> <p>○包括支援センター広報誌の配布をとおし、新たな連携構築に繋げる。 ・広報誌の発行(年2回)</p>	<p>・ネットワーク構築回数</p> <p>・ネットワーク構築機関</p>
<p>・利用者基本台帳作成計画数値の559件を達成させる。</p> <p>・相談受付の際、可能な限り実態把握を行うように努める。</p> <p>・予防給付利用者及び介護予防ケアマネジメント利用者の利用者基本台帳を全数提出する。</p>	<p>○包括で実施する出前講座の他、社協各支所で実施する事業等で、今後の生活に不安があるなど、軽微な心配がある方について、本人の了解を得て訪問の上実態把握を行う。</p> <p>○過去の高齢者のみ世帯を対象とした見守りネットワーク事業の名簿を活用し、実態把握を効果的に実施する。</p> <p>○電話で相談を受け付けた場合も、可能な限り了解を得た上で対象者宅を訪問し実態把握を実施する。</p> <p>○介護予防支援事業及び介護予防ケアマネジメント担当者については、各自担当ケースの利用者基本台帳を提出したかについて確認を徹底する。</p>	<p>・利用者基本情報作成数と計画数値に対する達成率</p> <p>・利用者基本情報作成の内訳と地域支援事業分の計画数値に対する達成率</p>
<p>・地域の方に地域包括支援センターの気軽に相談するという意識を持ってもらう。</p> <p>・地域包括支援センターの役割の周知を図る。</p> <p>・地域の各種機関から高齢者に関する相談が一元的に寄せられるようになる。</p>	<p>○民生児童委員協議会定例会への出席をとおし、包括支援センターに気軽に相談できる関係を作る。</p> <p>○出前講座や社協各支所事業でのパンフレット配布により、気軽に高齢者の総合相談先として包括を利用できるようにする。</p> <p>○郵便局や漁業協同組合等地域の方が多く訪れる機関に、地域包括支援センターのチラシをおいてもらう。</p> <p>○訪問相談の対応方法について、圏域によって対応する曜日を決めてまとめて対応できないか検討する。</p>	<p>・相談対応件数(実・延)</p> <p>・相談形態内訳</p> <p>・相談者の続柄内訳</p> <p>・相談内容内訳</p>

(ア) 総合相談支援業務

事業内容	平成28年度 活動評価																									
	実績	評価																								
総合相談	<p>④相談者の続柄内訳(重複あり)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>■ 本人</td> <td>852件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>■ 家族親族</td> <td>170件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>■ 民生・町会</td> <td>35件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>■ 関係機関</td> <td>238件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>■ その他</td> <td>12件</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		H28	H29	H30	■ 本人	852件			■ 家族親族	170件			■ 民生・町会	35件			■ 関係機関	238件			■ その他	12件			<p>・老人クラブや社協各種事業等での出前講座で、地域包括支援センターの周知を繰り返し行っている事や、地域的に子供達が地域外に居住しており、独居や高齢夫婦世帯の方が多く、本人からの相談件数が大変多い。</p> <p>・民生委員からの相談が少ない状況だが、これは市各支所が民生児童委員協議会の事務局を担当しているの、民生児童委員協議会各方面定例会の際に民生委員が市各支所担当者に相談をし、その後市担当者から包括に相談が来るケースが多いことも関係していると思われる。</p> <p>・保健や医療に関する相談が少ない状況だが、保健医療については東部保健事務所がそれらの分野の相談先として、老人クラブ等で周知していることも関係していると思われる。</p>
		H28	H29	H30																						
■ 本人	852件																									
■ 家族親族	170件																									
■ 民生・町会	35件																									
■ 関係機関	238件																									
■ その他	12件																									
<p>⑤相談内容内訳(重複あり)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福祉関係</td> <td>858件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>保健関係</td> <td>14件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>医療関係</td> <td>40件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>介護保険関係</td> <td>473件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>54件</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		H28	H29	H30	福祉関係	858件			保健関係	14件			医療関係	40件			介護保険関係	473件			その他	54件				
	H28	H29	H30																							
福祉関係	858件																									
保健関係	14件																									
医療関係	40件																									
介護保険関係	473件																									
その他	54件																									
保健福祉サービス等の利用調整	<p>①利用調整状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調整件数</td> <td>466件</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		H28	H29	H30	調整件数	466件			<p>・在宅高齢者等サービス利用調整については、H27年度の289件から466件と大幅に伸びたため、担当職員の負担が非常に大きかった。</p> <p>・東部圏域で公共交通機関の利便性が悪いため、東部地区外出支援サービスの利用申請希望と、身体虚弱な独居高齢者が多いことによる、緊急通報申請の設置申請希望が多く、今後もこの傾向は続くと思われる。</p>																
		H28	H29	H30																						
調整件数	466件																									
<p>②モニタリング実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象者数</td> <td>131件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実施数</td> <td>131件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実施率</td> <td>100.0%</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		H28	H29	H30	対象者数	131件			実施数	131件			実施率	100.0%												
	H28	H29	H30																							
対象者数	131件																									
実施数	131件																									
実施率	100.0%																									
住民に対する広報・啓発活動	<p>①住民に対する広報・啓発回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広報紙の発行</td> <td>3回</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>パンフレット等配布</td> <td>15回</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出前講座・講師派遣</td> <td>45回</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>認知症サポーター養成講座</td> <td>5回</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		H28	H29	H30	広報紙の発行	3回			パンフレット等配布	15回			出前講座・講師派遣	45回			認知症サポーター養成講座	5回			<p>・出前講座での周知活動を行ったが、戸井地区、恵山地区への周知に偏りがあった。榎法華地区、南茅部地区への周知方法を検討する必要がある。</p> <p>・センター業務や介護保険制度についての啓発を実施したが、直接関わっている方については、一定の理解はあるが、そうでない方は、1回で理解することが難しいので、周知回数に限らず、定期的に周知を行う必要があると考えられる。</p> <p>・センター単独の広報作成を実施したが、センター職員の顔やセンターで実施している活動について分かりやすいと声があった。次年度も広報誌の発行を行い、理解を深めて頂く機会としたい。</p>				
		H28	H29	H30																						
	広報紙の発行	3回																								
パンフレット等配布	15回																									
出前講座・講師派遣	45回																									
認知症サポーター養成講座	5回																									
<p>②総合相談にかかる広報・啓発回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>センター業務</td> <td>26回</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>介護保険制度</td> <td>24回</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>保健福祉サービス</td> <td>16回</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>認知症</td> <td>7回</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		H28	H29	H30	センター業務	26回			介護保険制度	24回			保健福祉サービス	16回			認知症	7回								
	H28	H29	H30																							
センター業務	26回																									
介護保険制度	24回																									
保健福祉サービス	16回																									
認知症	7回																									
<p>③総合相談にかかる出前講座・講師派遣の依頼機関</p> <p>社協戸井支所、社協恵山支所、日ノ浜体操教室、女那川サロン、日ノ浜サロン、中浜健康教室、浜町運動教室、民児協第28方面、函館東商工会、恵山在宅福祉委員会、戸井支所市民福祉課、恵山教育事務所、東部保健事務所、地域福祉課</p>																										

平成29年度 活動計画		
事業目標	計画	評価指標
<p>・保健福祉サービスのモニタリングを実施する。</p> <p>・利用が必要な住民にニーズの高い保健福祉サービスについての周知を図る。</p>	<p>○保健福祉サービス利用者のモニタリングを行う事で、現在の心身の状態やサービスの利用状況の把握を行う。</p> <p>○保健福祉サービス申請時には利用者の立場に立って対応すると共に、他のサービスを複合的に利用する必要があるか留意する。</p> <p>○社協各支所事業や出前講座開催時等にサービスの周知を図る。</p>	<p>・利用調整件数</p> <p>・モニタリング実施数(率)</p>
<p>・社会福祉協議会の基盤を活用し地域包括支援センターの周知を図る。</p> <p>・各種サロン等で口頭または、パワーポイント等で分かりやすく総合相談支援業務の周知を行う。</p> <p>・気になる高齢者に気づく視点について周知を行う。</p>	<p>○社協各支所で実施している地域福祉事業やサロン等の場をはじめ、町内会や民生児童委員定例会等の場を活用し、効果的に地域包括支援センターの役割を周知する。</p> <p>○老人クラブや高齢者大学、地域の自主活動や地域サロンなど様々な場を利用して、直接各事業の参加者に在宅高齢者等サービスや総合相談業務に関する周知を行う。(重点地域として南茅部・檜法華地区)</p> <p>・出前講座(随時)</p> <p>・認知症サポーター養成講座(年1回以上)</p> <p>○広報誌を作成し各種事業で配付する。</p> <p>・広報誌の発行(年2回)</p> <p>・社協だよりへの記事記載(年2回)</p>	<p>○住民に対する広報・啓発回数</p> <p>・広報紙の発行回数</p> <p>・パンフレット等配布回数</p> <p>・出前講座・講師派遣回数</p> <p>・認知症サポーター養成講座の回数</p> <p>○総合相談にかかる広報・啓発</p> <p>・センター業務、介護保険制度、保健福祉サービス、認知症(認サポ含む)</p> <p>・出前講座・講師派遣の依頼機関</p>

(イ) 権利擁護業務

【根拠法令】介護保険法115条の45第2項第2号

【目的】高齢者等が地域において尊厳のある生活を維持し、安心して生活を行うことができるよう、専門的・継続的な視点から、高齢者等の権利擁護のため、必要な支援を行う。

事業内容	平成28年度 活動評価																																																																																																									
	実績	評価																																																																																																								
権利擁護相談 (高齢者虐待・困難事例への対応、成年後見制度の利用促進・消費者被害の防止に関する対応)	<p>①権利擁護相談対応状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実件数</td> <td>4件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ件数</td> <td>50件</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・対応事案内訳(重複あり) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高齢者虐待</td> <td>2件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>セフレグレクト</td> <td>0件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>成年後見等</td> <td>0件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>消費者被害</td> <td>0件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>困難事例</td> <td>7件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0件</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・相談者・通報者 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケアマネ</td> <td>0件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業所</td> <td>0件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>住民</td> <td>0件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>民生委員</td> <td>0件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本人</td> <td>0件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>親族</td> <td>3件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>行政</td> <td>4件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>警察</td> <td>0件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>医療機関</td> <td>0件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>不明匿名</td> <td>0件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2件</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>②高齢者虐待対応状況(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実件数</td> <td>4件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>終結件数</td> <td>4件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>終結率</td> <td>100.0%</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		H28	H29	H30	実件数	4件			延べ件数	50件				H28	H29	H30	高齢者虐待	2件			セフレグレクト	0件			成年後見等	0件			消費者被害	0件			困難事例	7件			その他	0件				H28	H29	H30	ケアマネ	0件			事業所	0件			住民	0件			民生委員	0件			本人	0件			親族	3件			行政	4件			警察	0件			医療機関	0件			不明匿名	0件			その他	2件				H28	H29	H30	実件数	4件			終結件数	4件			終結率	100.0%			<p>・対応事案件数が少ないのは、地域特性的に昔ながらの自助互助のコミュニティが構築されており、多少の問題であれば公的機関の介入無く対応する地域力があると思われるが、人口の急激な減少と少子高齢化により、今後権利擁護相談の増加が予想される。</p> <p>・消費者被害については、出前講座等で何度も繰り返し啓発を行っており、地域の高齢者からも、知らない地域外からの電話には出ない、よく分からない電話はすぐに切ると言った対応をしているとの声を良く聞くようになったので、今後も繰り返し啓発を行って行く。</p>
		H28	H29	H30																																																																																																						
実件数	4件																																																																																																									
延べ件数	50件																																																																																																									
	H28	H29	H30																																																																																																							
高齢者虐待	2件																																																																																																									
セフレグレクト	0件																																																																																																									
成年後見等	0件																																																																																																									
消費者被害	0件																																																																																																									
困難事例	7件																																																																																																									
その他	0件																																																																																																									
	H28	H29	H30																																																																																																							
ケアマネ	0件																																																																																																									
事業所	0件																																																																																																									
住民	0件																																																																																																									
民生委員	0件																																																																																																									
本人	0件																																																																																																									
親族	3件																																																																																																									
行政	4件																																																																																																									
警察	0件																																																																																																									
医療機関	0件																																																																																																									
不明匿名	0件																																																																																																									
その他	2件																																																																																																									
	H28	H29	H30																																																																																																							
実件数	4件																																																																																																									
終結件数	4件																																																																																																									
終結率	100.0%																																																																																																									
医療機関とのネットワーク構築	<p>①個別ケース支援連携数 51件</p> <p>②ネットワーク構築方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士部会「相談シート」の配付 ・保健医療福祉連携会議の開催 ・個別ケースの検討を行う地域ケア会議への招集 <p>③連携およびネットワーク構築機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市立函館恵山病院 ・市立函館南茅部病院 ・榎法華クリニック ・杉山クリニック 	<p>・圏域的に医療機関に限られるため、それぞれの医療機関との連携体制については保健医療福祉連携会議の開催や日々のケース対応で十分行いう事ができている。</p> <p>・前年度まで連携体制が構築できていなかった医療機関と新たに連携を図ることができ、圏域内全ての医療機関との連携体制が構築されたため、今後もこの体制の維持と強化を図っていく。</p>																																																																																																								

平成29年度 活動計画		
事業目標	計画	評価指標
<p>・地域からの相談事例の件数が増えることで、事例の早期発見及び適切な支援に繋がる。</p> <p>・軽微な権利擁護相談についても、気軽に地域包括支援センターに連絡が来るようになる。</p>	<p>○虐待ケースについて地域の方が具体的にイメージできるような周知を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護をテーマにした出前講座の開催 ・広報誌に権利擁護についての記事を掲載 <p>○権利擁護相談の内容によって適切な機関との連携を行い、支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見センターとの連携 ・消費者センターとの連携 ・法テラスとの連携 など <p>○権利擁護業務に関する出前講座を開催することで、相談窓口としての周知を図り、軽微な事例であっても気軽に相談しても構わないという意識付けを図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域サロン、老人クラブでの出前講座の開催 ・社協各支所事業開催時のパンフレット配布 	<p>○権利擁護相談対応状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応件数 ・対応事案内訳 ・相談・通報者内訳 <p>○高齢者虐待対応状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通報件数 ・通報者内訳 ・虐待実件数 ・虐待対応件数(実) ・終結件数(率)
<p>・圏域内各医療機関との連携体制の維持強化が図られる。</p> <p>・圏域内各医療機関からの相談件数が増える</p>	<p>○医療機関等へ、包括支援センターの役割の周知を継続的に行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌の発行 ・圏域外の医療機関への広報誌の配布について検討する <p>○ネットワークが構築されている圏域内の各医療機関について、保健医療福祉連携会議等の開催などを通して、関係を維持することで、支援が必要な高齢者の情報を各医療機関から円滑に把握する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健医療福祉連携会議の開催継続 ・医療機関に相談シートの配布を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別ケース連携数 ・ネットワーク構築方法 ・ネットワーク構築機関 ・「相談シート」の活用について、周知した回数 ・高齢者虐待通報者内訳

(イ) 権利擁護業務

事業内容	平成28年度 活動評価				
	実績			評価	
権利擁護業務に関するネットワーク構築	①高齢者虐待に関する研修会や事例検討会の開催			<p>・圏域的に権利擁護業務の相談実績は多くないが、相談を受け付けた際に常に適切な対応を行うことができるよう、関係機関との連携体制を維持しておく必要がある。</p> <p>・圏域内関係機関においても高齢者虐待の事例を扱うことがほとんど無いため、圏域内において研修会や事例検討会の開催を通して、事例発生時の連携体制の確認をしておく必要がある。</p>	
		H28	H29		H30
	開催回数	0回			
	参加機関(実)	0件			
	参加者数(延)	0人			
	・テーマ				
	②高齢者虐待に関する研修会や事例検討会の参加				
		H28	H29	H30	
	参加回数	1回			
センター内スキルアップ対策	③困難事例に関する研修会や事例検討会の開催			<p>・配置基準職種が、社会福祉士、保健師、主任介護支援専門員ともそれぞれ1名のため、同一職種間での連携やスキルアップができない。このため、積極的に外部研修等に参加することで、職員の資質向上を図る必要がある。</p>	
		H28	H29		H30
	開催回数	1回			
	参加機関(実)	4件			
	参加者数(延)	6人			
	・テーマ				
	独居で病院受診やサービス利用を拒否する方への支援について				
	④困難事例に関する研修会や事例検討会の参加				
		H28	H29		H30
	参加回数	0回			
⑤成年後見制度(日常生活自立支援事業活用を含む)・消費者被害に関する研修会や事例検討会の開催					
	H28	H29	H30		
開催回数	1回				
参加機関(実)	5件				
参加者数(延)	10人				
・テーマ					
1. 日常生活自立支援事業について					
2. 生活支援員の確保について					
⑥成年後見制度(日常生活自立支援事業活用を含む)・消費者被害に関する研修会や事例検討会の参加					
	H28	H29	H30		
参加回数	3回				
住民に対する広報・啓発活動	①権利擁護業務にかかる広報・啓発回数			<p>・出前講座での周知活動を行ったが、戸井地区、恵山地区への周知に偏りがあった。楳法華地区、南茅部地区への周知方法を検討する必要がある。</p>	
		H28	H29		H30
	高齢者虐待	23回			
	成年後見	15回			
	消費者被害	17回			
②権利擁護業務にかかる出前講座や講師派遣の依頼機関			<p>・消費者被害についての周知では、身近な問題として一定の理解が得られたように感じるが、高齢者虐待成年後見等については、理解が薄いように感じられた。</p> <p>・身近な問題である事を理解して頂けるような周知を強化していく必要があると思われる。</p>		
社協恵山支所, 女那川サロン, 大潤サロン, 浜町運動教室, 日ノ浜体操教室, 函館東商工会, 戸井支所市民福祉課, 東部保健事務所, 地域福祉課					

平成29年度 活動計画		
事業目標	計画	評価指標
<p>・早期相談体制を構築し虐待事例に発展する前に介入できる体制となる。</p> <p>・高齢者虐待に係る研修課や事例検討会を開催し、関係機関の資質向上を図られる。</p>	<p>○圏域外の関係機関との連携体制の構築のため、担当職員以外についても外部主催研修会等へ参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部機関主催研修会への参加 <p>○権利擁護に関する研修会や事例検討会を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困難事例に関する研修会(年1回) ・高齢者虐待に関する研修会(年1回) 	<p>○高齢者虐待, 困難事例, 成年後見制度・消費者被害に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会や事例検討会の開催回数と参加機関, 参加者数 ・研修会や事例検討会の参加回数
<p>・センター内での研修の実施のほか、外部研修等についても積極的に参加し、職員個々の資質向上に努める。</p>	<p>○専門職として適切かつ効果的な支援を行うことができるよう、各種団体が開催する研修会等に参加し資質の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度等に関する研修会への参加(随時) ・外部主催研修等への参加(随時) <p>○外部研修に参加した場合は、学んだ内容についてセンター内で伝達研修を実施することで共有し、各職種とも常に同じレベルで業務に対応できるよう努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所内での事例検討、伝達研修等の実施(随時) 	
<p>・比較的イメージしにくい、高齢者虐待や成年後見制度について分かりやすい視点での広報啓発活動を実施する。</p> <p>・消費者被害について金融機関や商店等の啓発も重要となるため、そのような機関との連携を図る。</p>	<p>○成年後見センターや圏域内の警察等からの情報に基づき、より身近な視点から出前講座等を実施し、分かりやすい啓発活動に努める。</p> <p>○消費者被害の未然防止のため、老人クラブや町内会等への出前講座実施の他、渡島東商工会との連携を図り、パンフレット等の情報提供や要請があれば出前講座等の開催を行う。</p> <p>○包括支援センターの権利擁護業務について周知を図ることで、圏域内で該当ケースがあれば円滑に相談に繋がるように努める。</p> <p>○広報啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌、パンフレットの配付(随時) ・出前講座、外部主催研修等への講師派遣(随時) 	<p>○権利擁護業務にかかる広報・啓発回数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待, 消費者被害, 成年後見制度 ・出前講座, 講師派遣の依頼機関

(ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

【根拠法令】介護保険法115条の45第2項第3号

【目的】高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、個々の高齢者等の状況や変化に応じて、包括的かつ継続的に支援していくための地域における他職種相互の連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援を行う。

事業内容	平成28年度 活動評価			
	実績			評価
包括的・継続的 ケアマネジメント体制 の構築	①合同ケアプラン指導研修会開催状況			
		H28	H29	H30
	開催回数	2回		
	・ 圏域の参加状況			
		1回目	2回目	
	参加事業所数	4件	1件	
	参加率	57.0%	14.0%	
	②圏域内ケアプラン指導研修開催状況			
	・ 2月28日 社協戸井支所			
	テーマ	独居で病院受診やサービス利用を拒否する方への支援について、日常生活自室支援事業について		
連携状況	成年後見センター職員(社会福祉士)による研修を通し意見交換・情報共有が図られ他職種との連携が図られた			
圏域の参加状況	事業所数	居宅介護支援	3件	
		小規模多機能	2件	
		その他	2件	
	参加者数	9人		
介護支援専門員に 対する個別支援	①支援件数			
		H28	H29	H30
	ケース数	1件		
	対応回数	47回		
	終結件数	1件		
	終結率	100.0%		
	②相談者(重複あり)			
		H28	H29	H30
	ケアマネ	2件		
	本人	0件		
	家族	0件		
	行政	0件		
	その他	0件		
	②対応方法(重複あり)			
		H28	H29	H30
	情報提供	1件		
	支援方法	2件		
サービス担当者会議	0件			
地域ケア会議	1件			
計画支援	0件			
ケアマネ変更	1件			
その他	0件			
③課題の背景(重複あり)				
	H28	H29	H30	
本人	1件			
家族	0件			
ケアマネ	0件			
その他	0件			
<p>・圏域内における居宅介護支援事業所が戸井0箇所、恵山1箇所、楳法華1箇所、南茅部1箇所、小規模多機能居宅介護事業所は戸井2箇所、恵山1箇所、南茅部1箇所となっており、それぞれ配置されている介護支援専門員は1人もしくは2人の小規模事業所であることから、介護支援専門員相互の報告・連絡・相談など連携協力体制が弱いと思われるので今後も包括から情報提供などし連携・協働の体制づくりを勧めて参ります。</p> <p>・圏域内における居宅介護支援事業所が戸井0箇所、恵山1箇所、楳法華1箇所、南茅部1箇所、小規模多機能居宅介護事業所は戸井2箇所、恵山1箇所、南茅部1箇所となっており、それぞれ配置されている介護支援専門員は1人もしくは2人と小規模なことから、介護支援専門員の連携や協力、相談が難しい。</p>				

平成29年度 活動計画		
事業目標	計画	評価指標
<p>・包括的継続的な支援を行う際には、インフォーマル資源の発掘や情報提供、関係制度についての情報提供、サービス事業所や医療機関との連携を図る。</p>	<p>○介護支援専門員相互の連携や協力・相談ができるようケアプラン指導研修や地域ケア会議及び各地域における保健医療福祉連携会議の開催等を通じて関係機関との連携を構築し地域の連携協力体制を推進する。</p> <p>○ケアプラン指導研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全包括合同開催(年2回) <ul style="list-style-type: none"> 1回目 8月予定 内容:家族支援について 講師:五十嵐 敦 氏 2回目 11月予定 内容:社会資源について 講師:斉藤 征人 氏 ・圏域内開催(年1回) <ul style="list-style-type: none"> 開催時期 3月予定 内容:前回までに開催した研修アンケートの結果を基に要望に即した内容での企画をして参ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラン指導研修開催回数(他職種連携, 主任CM連携) ・参加数(率)
<p>・困難ケースへの同行訪問や助言、関係者の顔が見える関係づくりを行う。</p>	<p>○ケースに同行訪問し助言や関係者間での顔の見える関係づくりを行う。日頃から関係づくりを意識して事業所に出向くことやカンファレンスなどへの参加や医療保健福祉連携会議などでの情報交換など心がける。相談対応ではタイムリーな関わりや傾聴姿勢にて対応し、包括的継続的な支援を行う際にはインフォーマル資源の発掘や関係制度についての情報提供を行い、サービス事業所や医療機関などとの連携を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援数 ・終結数(率) ・対応方法 ・課題の背景 ・地域とのつながりを視野に入れ支援したケース数

(I) 地域ケア会議推進事業

【根拠法令】介護保険法115条の48

【目的】地域包括ケアシステムの構築のため、地域ケア会議を開催し、介護サービスだけでなく、様々な社会資源が有機的に連携することができる環境を整備し、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を営むことができるよう支援を行う。

事業内容	平成28年度 活動評価			
	実績			評価
個別ケースの検討を行う地域ケア会議	①開催状況			
		H28	H29	H30
	計画数値	3回	3回	
	開催回数	3回		
	達成率	100.0%		
	<p>・現状、地域内での互助機能が維持されており、深刻な支援困難ケースは少ないが、今後人口減や高齢化率の上昇により、地域の互助機能の低下により、個別ケースの検討を要する事例が増加することが予測される。</p>			
地域課題の検討を行う地域ケア会議	①開催状況			
		H28	H29	H30
	計画数値	2回	2回	
	開催回数	3回		
	達成率	150.0%		
	②テーマおよび主な参加機関			
	・ 11月15日 南茅部総合センター			
	テーマ	住み慣れた地域でいつまでも生活するために、地域福祉の関連する課題を共有し、地域住民が主体となって課題を解決できる活動につなげる		
	参加機関	近隣住民、民生児童委員、町会役員、東部保健事務所、関係機関、団体、社協		
	・ 11月17日 社協楹法華支所			
テーマ	住み慣れた地域でいつまでも生活するために、地域福祉の関連する課題を共有し、地域住民が主体となって課題を解決できる活動につなげる			
参加機関	民生児童委員、町会役員、東部保健事務所、老人クラブ、社協			
・ 3月28日 戸井西部総合センター				
テーマ	戸井地域住民への生活支援体制整備事業の周知と、地域住民として担うことができる活動について考える			
参加機関	民生児童委員、町会役員、戸井支所市民福祉課、老人クラブ、ボランティア			
③明確になった地域課題				
<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に集えるサロンの立ち上げ ・サロンや病院へ行く交通手段の確保 ・人口減に伴う民生委員や町内会役員のなり手の不足 ・認知症についての理解不足 ・食習慣(糖分の取りすぎ等)による疾患が多い 				
住民に対する広報・啓発活動	①地域ケア会議にかかる広報・啓発回数			
		H28	H29	H30
	地域ケア会議	5回		
	地域の見守り	8回		
③地域ケア会議にかかる出前講座・講師派遣の依頼機関 社協恵山支所、日ノ浜体操教室				
<p>・地域ケア会議についての啓発回数が少なかったが、もともと地域の見守り体制が強い地区である事から、ケア会議についての周知を強化することで、より見守り体制の強化につながると思われる。啓発回数の強化が必要。</p>				

平成29年度 活動計画

事業目標	計画	評価指標
<p>・個別ケースの検討と分析を積み重ねることで、地域に共通する課題の明確化を図る。</p> <p>・介護支援専門員の自立支援に資するケアマネジメントの実践力を高める。</p>	<p>・各圏域内で定例開催している保健医療福祉連携会議や、圏域内の居宅介護事業所職員等から、検討ケースが出された場合、多角的に課題解決のための検討を行う。</p> <p>・課題解決のプロセスを通して、参加した介護支援専門員が自立支援に資するケアマネジメント等の質の向上を図ることができるよう支援する。</p> <p>○個別ケースの検討を行う地域ケア会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年3回開催(ケース相談に応じて随時) ・ケース担当介護支援専門員のフォロー(随時) 	<ul style="list-style-type: none"> ・開催回数と計画達成率 ・居宅と地域がつながる仕組みづくりに向けた検討を行った回数 ・地域における認知症の方への支援および地域での見守り体制の構築方法について検討した回数
<p>・地域に不足している社会資源や、その解決に必要な仕組み作りを地域住民が確認できる。</p> <p>・地域の中で今後も互助機能を維持したまちづくりを行う。</p>	<p>○各圏域内で定例開催している保健医療福祉連携会議で、各専門職から出される事例を通し、地域内で必要な課題の抽出を行う。</p> <p>○各圏域の老人クラブ、民生委員、町内会等関係者から、当事者としての視点で提起された課題について、地域内でどの様に解決できるか検討し、地域住民のみでは解決できない課題について必要に応じ、市各支所にも情報を伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の検討を行う地域ケア会議の開催 ※年2回開催(恵山・楸法華圏域、南茅部圏域) <p>○認知症についての知識の不足や誤った知識が、高齢者の地域での生活の障害になっている事も多いため、ケア会議実施の際は、その点も学ぶことのできるような内容で開催する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・開催数と計画達成率 ・居宅と地域がつながる仕組みづくりに向けた検討を行った回数 ・地域における認知症の方への支援および地域での見守り体制の構築方法について検討した回数
<p>・社協各支所での事業実施時や関係機関等の開催する会議の場を活用し周知を図る。</p>	<p>○社協各支所事業と連携して講師派遣を行うほか、民生委員、各方面定例会等の場を活用して、啓発活動に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌、パンフレットの配付(随時) ・出前講座、外部主催研修等への講師派遣(随時) 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域ケア会議にかかる 広報・啓発回数 ・地域ケア会議、地域の見守り ・出前講座、講師派遣の依頼機関

イ 生活支援体制整備事業

(ア) 第2層生活支援コーディネーター業務

【根拠法令】介護保険法115条の45第2項第5号

【目的】地域包括ケアシステムの構築のため、第2層生活支援コーディネーターとして、高齢者の日常生活上の支援体制の充実・強化および高齢者の社会参加の促進が一体的に図られ仕組みづくりを行う。

事業内容	平成28年度 活動評価																					
	実績	評価																				
地域のネットワーク構築	①ネットワーク構築回数 74回 ②ネットワーク構築機関 運営推進会議 8事業所 24回 民児協定例会(26, 29方面) 精神保健福祉士協会, 薬剤師会, 法テラス, 居宅連協, 町会連合会保健福祉部, 恵山恵愛会居宅, 社協支所, 社協居宅かやべ 東部保健事務所, 戸井支所, 杉山クリニック, レインボー薬局, 恵山病院, 南茅部病院, 調剤, 楯法華小中学校, 消防, 戸井歯科診療所 楯法華クリニック	・地域内の関係者のネットワーク化について、医療や行政、介護保険施設等の機関については既存の保健医療福祉連携会議の開催を通して、また、民生委員との連携は、各方面民児協定例会への出席を通して図ることができている。																				
第2層協議体の開催	①開催状況 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>3回</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ②テーマおよび主な参加機関 <ul style="list-style-type: none"> ・ 11月15日 南茅部総合センター <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>テーマ</td> <td>住み慣れた地域でいつまでも生活するために、地域福祉の関連する課題を共有し、地域住民が主体となって課題を解決できる活動につなげる</td> </tr> <tr> <td>参加機関</td> <td>近隣住民, 民生児童委員, 町会役員, 東部保健事務所, 関係機関, 団体, 社協</td> </tr> </table> ・ 11月17日 社協楯法華支所 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>テーマ</td> <td>住み慣れた地域でいつまでも生活するために、地域福祉の関連する課題を共有し、地域住民が主体となって課題を解決できる活動につなげる</td> </tr> <tr> <td>参加機関</td> <td>民生児童委員, 町会役員, 東部保健事務所, 老人クラブ, 社協</td> </tr> </table> ・ 3月28日 戸井西部総合センター <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>テーマ</td> <td>戸井地域住民への生活支援体制整備事業の周知と、地域住民として担うことができる活動について考える</td> </tr> <tr> <td>参加機関</td> <td>民生児童委員, 町会役員, 戸井支所市民福祉課, 老人クラブ, ボランティア</td> </tr> </table> 		H28	H29	H30	開催回数	3回			テーマ	住み慣れた地域でいつまでも生活するために、地域福祉の関連する課題を共有し、地域住民が主体となって課題を解決できる活動につなげる	参加機関	近隣住民, 民生児童委員, 町会役員, 東部保健事務所, 関係機関, 団体, 社協	テーマ	住み慣れた地域でいつまでも生活するために、地域福祉の関連する課題を共有し、地域住民が主体となって課題を解決できる活動につなげる	参加機関	民生児童委員, 町会役員, 東部保健事務所, 老人クラブ, 社協	テーマ	戸井地域住民への生活支援体制整備事業の周知と、地域住民として担うことができる活動について考える	参加機関	民生児童委員, 町会役員, 戸井支所市民福祉課, 老人クラブ, ボランティア	・東部圏域は旧町村圏域毎に、それぞれ地域の特性や関係機関との連携状況が異なるため、それぞれの地域の実情に合わせて、活動の内容を検討する必要がある。 ・住民主体の通いの場については、すでに圏域においてある程度作られているが、その情報の共有が地域内で図られていない状況。このため、地域包括支援センターがそれら社会資源の情報を把握し、地域内に周知する事が重要となっている。
	H28	H29	H30																			
開催回数	3回																					
テーマ	住み慣れた地域でいつまでも生活するために、地域福祉の関連する課題を共有し、地域住民が主体となって課題を解決できる活動につなげる																					
参加機関	近隣住民, 民生児童委員, 町会役員, 東部保健事務所, 関係機関, 団体, 社協																					
テーマ	住み慣れた地域でいつまでも生活するために、地域福祉の関連する課題を共有し、地域住民が主体となって課題を解決できる活動につなげる																					
参加機関	民生児童委員, 町会役員, 東部保健事務所, 老人クラブ, 社協																					
テーマ	戸井地域住民への生活支援体制整備事業の周知と、地域住民として担うことができる活動について考える																					
参加機関	民生児童委員, 町会役員, 戸井支所市民福祉課, 老人クラブ, ボランティア																					
地域資源の収集と見える化、支え合いと介護予防に関する普及啓発	/	/																				

平成29年度 活動計画		
事業目標	計画	評価指標
<p>・地域内各関係機関との連携を図り、定期的な情報共有を行う事で、地域年とワークの中核を担えるよう活動する。</p>	<p>○各圏域内で定例開催している保健医療福祉連携会議で、各専門職とのネットワークの維持及び強化を図る。</p> <p>○民協定例会や、老人クラブ、地域サロン等への参加を通し、支援者や当事者とのネットワークを構築し、地域ニーズの把握に努める。</p>	<p>・ネットワーク構築回数 ・ネットワーク構築機関</p>
<p>・旧町村圏域毎に高齢者支援のニーズと地域資源の状況を把握していく。</p> <p>・住民自身が目指す地域のあり方について共有し、そのような地域づくりに向けた方針を共有する。</p>	<p>○各圏域内で定例開催している保健医療福祉連携会議で、各専門職から出される事例を通し、地域内の高齢者支援ニーズの抽出を行う。</p> <p>○各圏域の老人クラブ、民生委員、町内会等関係者から、当事者としての視点で提起された高齢者支援ニーズについて見える化し、地域内でどの様に解決できるか検討することで、方針の共有や意識の統一化を図る。</p> <p>○協議体の開催を通して、地域住民自身が生活支援等サービスに取り組む必要性を自然に認識し、積極的かつ主体的に参加していくよう意識付けを図る。</p> <p>・第2層協議体(地域課題の検討を行う地域ケア会議)の開催 ※年2回開催(恵山・楳法華圏域、南茅部圏域で開催)</p>	<p>・協議体の開催回数、 テーマ、主な参加機関</p>
<p>・整理した地域資源をもとに他地域と情報共有を図る。</p>	<p>○社協各支所事業と連携して旧4町村ごとの地域資源の収集を行い整理する。特に恵山地区においては、活発に活動されているため、他地域への参考になるように取り組み方法等についても整理する。</p> <p>・社会資源マップの作成</p> <p>○町会、民生委員、各方面定例会等、各種団体の会議等の場を活用して、地域資源の収集を行う。</p> <p>・広報誌、パンフレットの配付(随時) ・出前講座、外部主催研修等への講師派遣(随時)</p>	<p>○地域の支え合いや介護予防の取組、把握した地域資源に関する普及啓発</p> <p>・広報紙への掲載回数 ・広報・啓発回数 ・出前講座や講師派遣の依頼機関</p>

② 新しい介護予防・日常生活支援総合事業

イ 一般介護予防事業

(ア) 地域介護予防活動支援事業(高齢者の生きがいと健康づくり推進事業)

【根拠法令】 法第115条の45第1項第2号

【目的】 年齢や心身の状況等によって高齢者を分け隔てることなく、誰でも一緒に参加することのできる介護予防活動の地域展開を目指して、市町村が介護予防に資すると判断する住民主体の通いの場等の活動を地域の実情に応じて効果的かつ効率的に支援する。

事業内容	平成28年度 活動評価					
	実績				評価	
健康づくり教室 (新規・継続・自主)	① 新規教室					
		開催回数	参加者(実)	参加者(延)	1回平均	1人平均
	瀬田来町会館	12回	18人	119人	9.9人	6.6回
	<瀬田来町会館> 評価対象者数 8人 ・教室後に維持・向上した人数と割合					
		人数	割合			
	主観的健康観	5人	62.5%			
	運動や趣味活動	6人	75.0%			
	外出頻度	8人	100.0%			
	社会活動の頻度	6人	75.0%			
	・地域(町会や近所)との交流状況(複数回答)					
			教室前	教室後		
	ある	挨拶程度	4人	4人		
		立ち話をする	8人	8人		
		行き来がある	8人	8人		
		町会行事に参加している	7人	7人		
		生活面で協力し合う	0人	0人		
	あまりない	知っている人がいない	0人	0人		
		知り合う機会がない	0人	0人		
	・参加した感想					
		人数	割合			
とてもよかった	4人	50.0%				
よかった	4人	50.0%				
あまり良くなかった	0人	0.0%				
期待はずれだった	0人	0.0%				
・今後の取り組みについて(複数回答)						
	人数	割合				
この教室で活動したい	5人	62.5%				
ほかの教室にも参加する	0人	0.0%				
ほかの教室にも参加したいが難しい	1人	12.5%				
自分で介護予防に取り組んでみる	0人	0.0%				
あまり考えていない	2人	25.0%				
* 次年度の方向性 (取りまとめ役の老人クラブが運動を実施する意向がなく、お茶会での継続を希望していることから、解散となる。)						
② 継続教室(2年目)						
	開催回数	参加者(実)	参加者(延)	1回平均	1人平均	
柏野会館	7回	27人	89人	12.7人	3.3回	
川汲町会館	12回	22人	121人	10.1人	5.5回	
<柏野会館> 評価対象者数 13人 ・教室後に維持・向上した人数と割合						
	人数	割合				
主観的健康観	13人	100.0%				
運動や趣味活動	13人	100.0%				
外出頻度	13人	100.0%				
社会活動の頻度	13人	100.0%				
<瀬田来町会館> ・参加者18名に対し平均参加9.9人と、約半数の参加経過であった。 ・前半60代の参加率も高く、平均参加12人で経過していたが7~9月の休み明けからの参加が低下してしまった。 ・仕事や健康面で参加できないと回答を受けているが、若い世代むけの運動内容をもう少し組み込む必要があったのではないかと考えられる。 ・また、アンケート結果で教室継続を希望される方が5名いたが、継続に至らなかった。 ・継続参加を希望した方への社会資源周知を行い活動意欲の継続に繋げたい。						
<柏野会館> ・リーダーが中心となって教室の運営を行っており、包括としては、血圧測定とミニ講話の支援を中心として行った。 ・送迎の問題については、社会福祉協議会 恵山支所で対応しており、次年度も支援継続となっている。 ・平均12名程の参加で継続、楽しく参加され運営できている。そのため、自主化できたと判断。						

平成29年度 活動計画

事業目標	計画	評価指標
<p>・榎法華地区での教室を開催し、自主グループ活動に繋げるよう参加者の意識付けを図る。</p> <p>・戸井地区での教室を開催し、自主グループ活動に繋げるよう参加者の意識付けを図る。</p> <p>・平成28年度実施の瀬田来教室参加者への社会資源周知を行う。</p> <p>・平成28年度実施の南茅部教室参加者の自社活動実施にむけ、送迎問題解決に向け検討する。</p>	<p>○榎法華地区、戸井地区ともに教室を開催するにあたり、送迎の問題があるため、地域の社協支所に協力を得ながら、送迎対応を行うことで、参加者の利便性を図る。</p> <p>○比較的若い世代へも受け入れできるように運動指導員の介入回数を増やし、対応を行う。また、講師についても、これまで対応して頂いた講師から新たな講師へ変更して対応を行う。</p> <p>○開催方法として7～9月の昆布漁時期を除いての開催とし、例年4月から1月までの長期であったが、後半参加率低迷傾向であったため、4月～11月と短期間で集中的に開催する。</p> <p>○教室開催中にリーダーを担える参加者を把握して、意識付けを行うとともに、地域のボランティア団体等へも自主化となった際の運営の協力を依頼する。</p> <p>○自主化につながらなかった、南茅部教室については、送迎問題について、社協 南茅部支所と再度検討を実施する。</p> <p>○継続教室につながらなかった、瀬田来教室については、社協戸井支所とともに、サロンへの取り組み支援や継続希望者へ他の社会資源周知を実施する。</p> <p>○健康づくり教室をとおして、地域住民の支え合いや参加者同士のつながりの大切さを意識付ける。</p> <p>○健康づくり教室 ・新規 榎法華地区(全12回) ・新規 戸井地区 (全12回) ・自主 浜町、中浜町、日ノ浜町、柏野町(必要時介入)</p>	<p>・開催回数(新規・継続) および参加者数</p> <p>・健康づくり教室参加者の行動変容</p> <p>・健康づくり教室から自主化したグループの状況</p>

(ア) 地域介護予防活動支援事業(高齢者の生きがいと健康づくり推進事業)

事業内容	平成28年度 活動評価																											
	実績		評価																									
健康づくり教室 (新規・継続・自主)	<ul style="list-style-type: none"> 地域(町会や近所)との交流状況(複数回答) 			<p><川汲町会館></p> <ul style="list-style-type: none"> ・二年目教室として介入を実施。登録者27名で初回参加17名と力強さを感じたが、登録したが不参加の方、60代の参加率低迷、病気や仕事で参加できない方も多くなり、後半参加率が低くなってしまった。 ・60代の参加低迷については、平均年齢77.9歳のグループであったことから、教室の内容が合わなかったように感じられる。最終的に後半参加された方が自主活動を希望され、自主化に向けての調整を行ったが、希望者の半数が送迎対応が必要で社会福祉協議会南茅部支所にて対応検討を行ったが不可能となった。 ・東部地区においては、移動手段の確保が困難であることから送迎の確保や自身で移動できる比較的若い世代への介入で自主グループ化を目指す必要があると感じる。 ・但し、若い世代に限らず、生涯現役の地域であるため、今回希望された方等の送迎問題解決を実施した方が現実的と思われる。 ・次年度については、東部保健事務所にて昨年度開催したコツコツ貯金教室を引き継ぎ、出前講座等でも介入の少ない椴法華地区で新規教室の開催を計画し、もう一箇所については、新規開催が少なかった戸井地区(小安・釜谷)に重点を置き開催計画を行う。 																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>教室前</th> <th>教室後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">ある</td> <td>挨拶程度</td> <td>6人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>立ち話をする</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>行き来がある</td> <td>9人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>町会行事に参加している</td> <td>3人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>生活面で協力し合う</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">あまりない</td> <td>知っている人がいない</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>知り合う機会がない</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table>		教室前		教室後	ある	挨拶程度	6人	6人	立ち話をする	5人	5人	行き来がある	9人	9人	町会行事に参加している	3人	3人	生活面で協力し合う	1人	1人	あまりない	知っている人がいない	0人	0人	知り合う機会がない	0人	0人
		教室前	教室後																									
	ある	挨拶程度	6人		6人																							
		立ち話をする	5人		5人																							
		行き来がある	9人		9人																							
		町会行事に参加している	3人		3人																							
		生活面で協力し合う	1人		1人																							
	あまりない	知っている人がいない	0人		0人																							
		知り合う機会がない	0人		0人																							
	<ul style="list-style-type: none"> 参加した感想 																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とてもよかった</td> <td>9人</td> <td>69.2%</td> </tr> <tr> <td>よかった</td> <td>4人</td> <td>30.8%</td> </tr> <tr> <td>あまり良くなかった</td> <td>0人</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>期待はずれだった</td> <td>0人</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table>		人数		割合	とてもよかった	9人	69.2%	よかった	4人	30.8%	あまり良くなかった	0人	0.0%	期待はずれだった	0人	0.0%											
		人数	割合																									
	とてもよかった	9人	69.2%																									
	よかった	4人	30.8%																									
	あまり良くなかった	0人	0.0%																									
	期待はずれだった	0人	0.0%																									
	<ul style="list-style-type: none"> 今後の取り組みについて(複数回答) 																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>この教室で活動したい</td> <td>9人</td> <td>69.2%</td> </tr> <tr> <td>ほかの教室にも参加する</td> <td>4人</td> <td>30.8%</td> </tr> <tr> <td>ほかの教室にも参加したいが難しい</td> <td>0人</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>自分で介護予防に取り組んでみる</td> <td>0人</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>あまり考えていない</td> <td>0人</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table>		人数		割合	この教室で活動したい	9人	69.2%	ほかの教室にも参加する	4人	30.8%	ほかの教室にも参加したいが難しい	0人	0.0%	自分で介護予防に取り組んでみる	0人	0.0%	あまり考えていない	0人	0.0%								
		人数	割合																									
この教室で活動したい	9人	69.2%																										
ほかの教室にも参加する	4人	30.8%																										
ほかの教室にも参加したいが難しい	0人	0.0%																										
自分で介護予防に取り組んでみる	0人	0.0%																										
あまり考えていない	0人	0.0%																										
<ul style="list-style-type: none"> * 次年度の方向性 																												
<p>〔リーダーの活動力が強く、ボランティアの協力も得られるため、自主グループとして活動継続〕</p>																												
<p><川汲町会館> 評価対象者数 9人</p>																												
<ul style="list-style-type: none"> 教室後に維持・向上した人数と割合 																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主観的健康観</td> <td>6人</td> <td>66.7%</td> </tr> <tr> <td>運動や趣味活動</td> <td>8人</td> <td>88.9%</td> </tr> <tr> <td>外出頻度</td> <td>5人</td> <td>55.6%</td> </tr> <tr> <td>社会活動の頻度</td> <td>9人</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>		人数	割合	主観的健康観	6人	66.7%	運動や趣味活動	8人	88.9%	外出頻度	5人	55.6%	社会活動の頻度	9人	100.0%													
	人数	割合																										
主観的健康観	6人	66.7%																										
運動や趣味活動	8人	88.9%																										
外出頻度	5人	55.6%																										
社会活動の頻度	9人	100.0%																										
<ul style="list-style-type: none"> 地域(町会や近所)との交流状況(複数回答) 																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>教室前</th> <th>教室後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">ある</td> <td>挨拶程度</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>立ち話をする</td> <td>7人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>行き来がある</td> <td>5人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>町会行事に参加している</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>生活面で協力し合う</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">あまりない</td> <td>知っている人がいない</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>知り合う機会がない</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table>		教室前	教室後	ある	挨拶程度	5人	5人	立ち話をする	7人	8人	行き来がある	5人	6人	町会行事に参加している	5人	5人	生活面で協力し合う	0人	0人	あまりない	知っている人がいない	1人	0人	知り合う機会がない	0人	0人		
	教室前	教室後																										
ある	挨拶程度	5人	5人																									
	立ち話をする	7人	8人																									
	行き来がある	5人	6人																									
	町会行事に参加している	5人	5人																									
	生活面で協力し合う	0人	0人																									
あまりない	知っている人がいない	1人	0人																									
	知り合う機会がない	0人	0人																									
<ul style="list-style-type: none"> 参加した感想 																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とてもよかった</td> <td>6人</td> <td>66.7%</td> </tr> <tr> <td>よかった</td> <td>3人</td> <td>33.3%</td> </tr> <tr> <td>あまり良くなかった</td> <td>0人</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>期待はずれだった</td> <td>0人</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table>		人数	割合	とてもよかった	6人	66.7%	よかった	3人	33.3%	あまり良くなかった	0人	0.0%	期待はずれだった	0人	0.0%													
	人数	割合																										
とてもよかった	6人	66.7%																										
よかった	3人	33.3%																										
あまり良くなかった	0人	0.0%																										
期待はずれだった	0人	0.0%																										
<ul style="list-style-type: none"> 今後の取り組みについて(複数回答) 																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>この教室で活動したい</td> <td>9人</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>ほかの教室にも参加する</td> <td>0人</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>ほかの教室にも参加したいが難しい</td> <td>0人</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>自分で介護予防に取り組んでみる</td> <td>0人</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>あまり考えていない</td> <td>0人</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table>		人数	割合	この教室で活動したい	9人	100.0%	ほかの教室にも参加する	0人	0.0%	ほかの教室にも参加したいが難しい	0人	0.0%	自分で介護予防に取り組んでみる	0人	0.0%	あまり考えていない	0人	0.0%										
	人数	割合																										
この教室で活動したい	9人	100.0%																										
ほかの教室にも参加する	0人	0.0%																										
ほかの教室にも参加したいが難しい	0人	0.0%																										
自分で介護予防に取り組んでみる	0人	0.0%																										
あまり考えていない	0人	0.0%																										
<ul style="list-style-type: none"> * 次年度の方向性 																												
<p>〔行動力のある老人クラブの会長がおり、自主グループとして活動継続となったが送迎の問題が解決できていない。〕</p>																												

平成29年度 活動計画

事業目標	計画	評価指標

(ア) 地域介護予防活動支援事業(高齢者の生きがいと健康づくり推進事業)

事業内容	平成28年度 活動評価									
	実績	評価								
健康づくり教室 (新規・継続・自主)	③ 自主活動支援 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>支援回数</td> </tr> <tr> <td>中浜健康教室</td> <td>1回</td> </tr> </table>		支援回数	中浜健康教室	1回	・参加者の高齢化に伴い、平均参加4～5名となっている。リーダーがいるため、教室の運営はできるが、参加者減少への対応が今後の課題である。				
	支援回数									
中浜健康教室	1回									
住民への 介護予防に関する 広報・啓発活動	① 介護予防にかかる広報・啓発回数 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>介護予防</td> <td>22回</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ② 介護予防にかかる出前講座・講師派遣の依頼機関 (社協戸井支所, 社協恵山支所, 中浜サロン, 日ノ浜体操教室, 浜町運動教室, 中浜健康教室)		H28	H29	H30	介護予防	22回			・戸井地区、恵山地区への広報・啓発が多いため、榎法華地区、南茅部地区への周知活動が今後の課題である。
	H28	H29	H30							
介護予防	22回									

平成29年度 活動計画		
事業目標	計画	評価指標
<p>・自主グループが継続して活動が行える。</p>	<p>○自主開催している浜町、中浜町、日ノ浜町、柏野町の4教室については、必要時、自主グループ支援または、出前講座にて介入を実施。</p> <p>○中浜教室については、参加者減少があるため、社会福祉協議会恵山支所とともに、新規参加への周知を実施。</p>	
<p>・南茅部・榎法華地区への介入を年1回以上実施する。</p> <p>・介護予防に関する情報に関心を得られる意識付けを図る。</p>	<p>○社協各支所で実施しているサロン等の場を活用し、積極的に介護予防の重要性について学ぶ場を設ける。(榎法華、南茅部地区への介入を強化)</p> <p>○老人クラブや高齢者大学、地域の自主活動やサロンなど様々な場を利用して、健康づくりの周知を行う。</p> <p>・出前講座の開催(随時)</p> <p>○実態把握を行う際に、対象者へ介護予防に資するパンフレット等を配付し周知を行う。</p> <p>・広報誌、パンフレットの配付(随時)</p>	<p>○介護予防にかかる広報・啓発回数</p> <p>・出前講座・講師派遣の依頼機関</p>

③ 任意事業

ア 住宅改修支援事業

【根拠法令】介護保険法115条の45第3項第3号

【目的】高齢者向けに居宅等の改良を行おうとする者に対して、住宅改修に関する相談、助言等を行い、助言および介護保険制度の利用に関する助言を行うとともに、専門的な観点からの助言が必要認められる場合は、他の専門職も含め対応の検討を行い、必要な助言を行う。

事業内容	平成28年度 活動評価			
	実績			評価
住宅改修支援	①支援状況			
		H28	H29	H30
	支援件数	21件		
住民に対する 広報・啓発活動	①住宅改修にかかる広報・啓発回数			
		H28	H29	H30
	住宅改修	7回		
	②住宅改修にかかる出前講座・講師派遣の依頼機関 女那川サロン, 日ノ浜体操教室, 大潤サロン			
	・担当介護支援専門員がいない要支援者及び要介護者の場合、専門的な視点を要する住宅改修支給申請の適切な支援にスムーズにつながらない。			
	・広報、啓発から住宅改修に結びついた例があったことから啓発回数を増やして対応する必要があると考えられる。			

● 家族介護支援事業

【根拠法令】介護保険法115条の45第3項第2号

【目的】要介護高齢者を介護する者やそれを支える地域住民に対し、適切な介護知識や技術の指導・助言、介護者同士の交流等を行い、介護者を支援することを目的とする。

事業内容	平成28年度 活動評価			
	実績			評価
家族介護教室	①開催状況			
		H28		
	計画数値	2回		
	開催回数	3回		
	達成率	150.0%		
	②実施結果			
	実施日	参加者数	テーマ	
	5月30日	15人	介護技術「車椅子からベッドへの移乗」講話「介護保険制度を利用した住宅改修と福祉用具購入について」	
	2月8日	20人	健康チェック, 講話「認知症について」「介護保険サービスの利用までの流れについて」	
	3月1日	19人		
住民に対する 広報・啓発活動	①家族介護にかかる広報・啓発回数			
		H28	H29	H30
	家族介護支援	16回		
	②家族介護にかかる出前講座・講師派遣の依頼機関 社協恵山支所, 日ノ浜体操教室, 中浜体操教室, 函館東商工会, 東部保健事務所, 地域福祉課			
	・計画した回数を超えての実施が行えた。			
	・介護保険制度についての周知を中心に実施したが、理解に偏りがみられていたため、次年度以降は、出前講座等を活用して周知していく必要があると思われる。			
	・技術指導についても、地域の要望を伺いながら対応する必要があると思われる。			
	・戸井地区、恵山地区への周知に偏りがあった。椴法華地区、南茅部地区への周知方法を検討する必要がある。			

平成29年度 活動計画		
事業目標	計画	評価指標
<p>・担当介護支援専門員がいない要支援者及び要介護者からの住宅改修支援に関する相談があった場合、円滑な対応を行う。</p>	<p>○住宅改修を希望する対象者に対し、適切な住宅改修支援を実施するため、実態把握とアセスメントを行う。</p> <p>○必要に応じ住宅改修事業者はもとより、対象者が作業療法士や理学療法士等の支援を受けている場合、それら専門職との連絡調整を図り、必要な支援を行う。</p>	<p>・支援件数</p>
<p>・旧4町村ごとに啓発活動を実施する。</p>	<p>○老人クラブや高齢者大学などの他、社協各支所で実施しているサロン等の場を活用し、積極的かつ効果的に住宅改修支援業務に関するパンフレットを配布するほか、広報誌への記事掲載等を通じた周知を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌、パンフレットの配付(随時) ・出前講座の開催(随時) 	<p>○住宅改修にかかる広報・啓発回数</p> <p>・出前講座・講師派遣の依頼機関</p>